

ファーム卒コンサルの資産形成白書

by  Consulting Studio

本白書は、コンサルティング業界従事者の資産形成実態を分析し、キャリアステージ別の投資戦略を提示するものです。

主要な資産形成実態

Case 01 Big4コンサルタント(年収800万円):

積立投資中心で1,000万円の資産形成を実現

Case 02 日系コンサルファームマネージャー(年収1,200万円):

制度活用により安定的資産構築

Case 03 Big4出身フリーコンサル(年収1,500万円):

独立後の急速な資産増加

Case 04 戦略コンサル出身フリーコンサル(年収2,400万円):

FIRE目標で2,500万円達成

コンサルティング業界の高収入を活かした資産形成には、キャリアの安定性を考慮したリスク管理と、税務最適化が重要であることが判明しています。

目次

1. 業界収入構造分析
2. Case 01 Big4コンサルタント × 20代
3. Case 02 日系コンサルファームマネージャー × 30代
4. Case 03 Big4出身フリーコンサル × 20代
5. Case 04 戦略コンサル出身フリーコンサル × 20代
6. 年収別最適資産形成戦略
7. 税務最適化の具体的手法
8. 実践的アクションプラン

最後に

1. 業界収入構造分析

コンサルティング業界の収入構造は、従来の終身雇用型企业と大きく異なります。高収入である一方、キャリアの流動性が高く適切な資産形成戦略が必要不可欠です。

職位別表キャリアと投資戦略

職位・形態	年収レンジ	キャリア安定性	推奨投資戦略
Big4 ジュニア	500-700万円	中	積立投資・緊急資金確保
Big4 シニア	800-1,000万円	中	分散投資・スキル投資
ファームマネージャー	1,200-1,500万円	高	制度活用・不動産検討
フリーコンサル	1,500-3,000万円	低	積極投資・リスク管理

重要な考察

コンサルティング業界では、収入の増加と安定性が反比例する傾向があります。フリーコンサルになるほど収入は増加しますが、収入の不安定性も高まるため、より慎重な資産管理が求められます。

2. Case 01 Big4コンサルタント × 20代 (年収:800万円)

新卒でBig4に就職し、最近シニアコンサルタントに昇格した27歳 男性。
計画的な資産形成により、若くして1,000万円の総資産を達成しています。

資産形成の軌跡

1年目(年収500万円):月5万円の積立投資開始

3年目(年収650万円):月10万円に増額、NISA満額活用

5年目(年収800万円):月15万円、米国株インデックス中心

投資内容詳細

投資商品	割合	投資額(月)	期待リターン
米国株インデックス	60%	9万円	7-10%
全世界株式	25%	3.8万円	6-8%
日本株式	10%	1.5万円	4-6%
現金・債券	5%	0.7万円	1-2%

ポイント

- Big4 シニアコンサルタント
- 総資産額 1,000万円
- 職位に合わせて積立額UP
- 米国株中心の長期投資戦略
- NISA制度を最大限活用

3. Case 02 日系コンサルファームマネージャー × 30代 (年収: 1,200万円)

大手メーカーから日系コンサルファームに転職し、約3年でマネージャーに昇格した32歳男性。会社の制度を最大限活用し、安定的な資産形成を実現しています。

制度活用戦略

財形貯蓄: 月8万円(住宅取得目的)

企業型DC: 月5.5万円(マッチング拠出含む)

NISA: 年360万円満額

iDeCo: 月2.3万円

資産配分状況

資産クラス	金額	割合	備考
現金・預金	400万円	30%	結婚資金・緊急資金
株式投資	600万円	45%	インデックス中心
企業型DC	200万円	15%	海外株式中心
財形・その他	130万円	10%	住宅取得準備

結婚による戦略変更

結婚後に支出増加を見込んで現金保有比率を30%に引き上げ。

住宅購入も検討中で、財形貯蓄を積極活用している。

ポイント

- 日系ファーム マネージャー
- 総資産額 1,330万円
- 制度活用による税務最適化
- ライフイベント対応の現金確保
- 住宅取得を見据えた計画的貯蓄

4. Case 03 Big4出身フリーコンサル × 20代 (年収:1,500万円)

Big4で5年間勤務後、フリーコンサルとして独立した29歳男性。
収入増加を機に本格的な投資を開始し、積極的な資産形成を行っています。

独立前後の変化

項目	Big4時代	フリーコンサル	変化
年収	800万円	1,500万円	+87.5%
手取り年収	600万円	1,100万円	+83.3%
月間投資額	5万円	25万円	+400%
投資スタンス	保守的	積極的	リスク許容度UP

現在の投資ポートフォリオ

積立投資(月20万円):米国株・全世界株インデックス

債券投資(月3万円):リスク分散目的

暗号資産(月2万円):ビットコイン・イーサリアム

個別株(機動的):成長株への集中投資

フリーコンサル特有のリスク管理

収入の不安定性に備え、生活費1年分(400万円)の現金を確保。

同時に、高収入を活かした積極投資で資産拡大を図っている。

ポイント

- Big4出身 フリーコンサル
- 総資産額 800万円(独立1年で急増中)
- 月25万円の積極投資
- 暗号資産を含む分散投資
- 収入不安定性への備え

5. Case 04 戦略コンサル出身フリーコンサル × 20代 (年収:2,400万円)

戦略コンサル出身で現在はフリーコンサルとして活躍する28歳男性。
高収入を活かし、FIRE(経済的自立・早期退職)を目標とした積極的な資産形成を実践しています。

FIRE戦略の詳細

目標	必要資産額	現在の進捗	達成予定
Lean FIRE	6,000万円	42%	32歳
Fat FIRE	1億2,000万円	21%	35歳

配当重視の投資戦略

高配当株(40%):JT、KDDI、三菱商事等

米国高配当ETF(30%):VYM、HDV、SPYD

REIT(15%):国内外不動産投資信託

成長株(15%):将来性重視の個別株投資

月間投資実績

投資先	月額	年額	期待配当利回り
国内高配当株	40万円 ▽	480万円 ▽	3.5%
米国高配当ETF	30万円 ▽	360万円 ▽	3.2%
REIT	15万円 ▽	180万円 ▽	4.0%
成長株	15万円 ▽	180万円 ▽	1.0%

現在の配当収入

年間配当収入約80万円(月6.7万円)を達成。

目標の月20万円配当まで、あと3-4年での達成を見込んでいる。

ポイント

- 戦略コンサル出身 フリーコンサル
- 総資産額 2,500万円
- FIRE目標の高い入金力
- 配当重視のポートフォリオ
- 32歳でのセミリタイア計画

6. 年収別最適資産形成戦略

コンサルティング業界の年収レンジに応じた、最適な資産形成戦略を整理します。

年収レンジ別資産形成戦略

年収レンジ	推奨投資額	重点施策	投資戦略
500-800万円	月8-12万円	NISA満額活用・緊急資金確保	インデックス投資中心
800-1,200万円	月12-20万円	iDeCo・企業型DC活用	分散投資・一部個別株
1,200-1,800万円	月20-30万円	不動産投資検討・節税対策	積極的分散投資
1,800万円以上	月30万円以上	高度な税務戦略・法人化	オルタナティブ投資

コンサル業界特有の考慮事項

キャリアの流動性が高いため、液性の高い投資を重視

高収入期間が限定的な可能性を考慮し、集中的な資産形成

独立・転職時の収入減少リスクに備えた現金確保

スキル投資と金融投資のバランス

7. 税務最適化の具体的手法

高所得のコンサルタントが活用すべき税務最適化手法を具体的に解説します。

1. 基本的な制度活用

制度	限度額	税制優遇	対象年収
NISA(成長投資枠)	年360万円	運用益非課税 ▾	全年収 ▾
iDeCo	月2.3万円	全額所得控除 ▾	全年収 ▾
企業型DC	月5.5万円	全額非課税 ▾	制度ありファーム ▾
小規模企業共済	月7万円	全額所得控除 ▾	フリーコンサル ▾

2. フリーコンサル向け法人化メリット

法人税率:所得税最大45% → 法人税約30%

経費計上範囲拡大:研修費、書籍代、交際費等

退職金準備:役員退職金による所得分散

社会保険料削減:役員報酬調整による最適化

3. 年収別税務最適化シミュレーション

年収1,500万円フリーコンサルの場合

個人事業:実効税率約40% → 手取り900万円

法人化後:実効税率約28% → 手取り1,080万円

年間180万円の節税効果

8. 実践的アクションプラン

本白書の分析結果を踏まえ、キャリアステージ別の具体的な資産形成アクションプランを提示します。

Big4 ジュニア・シニアコンサルタント

第1ステップ(入社1-2年目):

- 生活防衛資金100万円の確保
- NISA口座開設・月5万円積立開始
- 全世界株式インデックス中心の投資

第2ステップ(3-5年目):

- 昇格に合わせて投資額を月10-15万円に増額
- iDeCo開始(月2.3万円満額)
- 米国株比重を高めた分散投資

ファームマネージャー

安定期の戦略:

- 企業型DC・財形貯蓄等の制度フル活用
- 不動産投資の検討開始
- ライフイベント資金の確保
- 月20-25万円の積立投資継続

フリーコンサル

独立初期(1-2年目):

- 生活防衛資金を年収の50%確保
- 小規模企業共済加入
- 法人化のタイミング検討

安定期(3年目以降):

- 月30万円以上の積極投資
- 配当株・REITによる副収入構築
- オルタナティブ投資の検討

共通の重要ポイント

定期的な見直し: 半年に1回のポートフォリオ調整

スキル投資: 金融資産の10%をスキル向上に投資

ネットワーク構築: 業界人脈による情報収集

リスク管理: キャリア・投資の両面でのリスク分散

最後に

本白書では、コンサルティング業界従事者の資産形成について、実際のケーススタディを基に包括的な分析を行いました。

成功の共通要因

- 早期からの計画的な積立投資
- キャリアアップに連動した投資額の増額
- 税制優遇制度の最大限活用
- 業界特有のリスクを考慮したポートフォリオ構築

コンサルティング業界の高収入は、適切に運用すれば早期の経済的自立を可能にします。キャリアの安定性を考慮したリスク管理と、計画的な資産形成戦略が不可欠です。

本白書が、皆様の豊かな人生設計の一助となることを願っております。

ファーム卒コンサルの資産形成白書

発行日:2025 年 mm 月 dd 日

発行者:Acrosstudio株式会社

本レポートを無断で複写、複製(コピー)、引用することは著作権法上での例外を除き、禁じられています。また代行業者等の第三者に依頼してWEB上で公開するなどすることは、たとえ個人の利用であっても一切認められていません。

本レポートは、一般的なガイダンスの提供のみを目的としており、詳細な調査や専門的な判断の実行の代用とされることを意図したものではありません。Acrosstudioは、本書を信頼した結果として組織または個人が被ったいかなる損失についても、一切責任を負わないものとします。

本レポートの中で使用されているデータは、第三者のソースから得られている場合があり、Acrosstudioはかかるデータに対する独自の検証、妥当性確認、または監査は行っていません。かかるデータを使用して得られた結果は「そのままの状態」で提供されており、Acrosstudioは明示的にも黙示的にも、それを明言したり保証したりするものではありません。